

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価		自己評価結果の考察・分析及び改善策等	関係者評価		学校関係者評価委員の意見
		項目	総合		項目	総合	
<b>I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進</b>							
1	家庭教育支援の充実 ①家庭教育学級の充実 ②おやじの会との連携	3	3	①家庭教育学級については、参加人数にバラつきが見られたが、内容は大変良かった。 ②おやじの会が発足し、運動会の準備や当日の運営、片付けなど積極的にご協力いただき大変助かった。	3.0	3.0	・ 学校と家庭の関わりは主に母親だが、父親との関わりが少しでも増えると良いと思う。 ・ おやじの会、地区親子会の活動を継続・発展させてほしい。
2	学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。 ①地域の人材・素材を活用した学習や行事等の充実 ②幼・保・中との連携・交流	3	3	①コロナ感染拡大に伴って、中止した活動もあったが、予定通りに地域人材を活用することができた活動もあった。実施できた活動は大変充実したものであった。 ②中学校との三校合同研修会を開くことができた。幼稚園と交流活動を行い、交流を深めることができた。	3.3	3.2	・ 地域連携の評価はとても良いと思う。子どもたちの先輩、後輩との交流を継続してほしい。 ・ 幼保中の児童・生徒の交流の機会を増やしてほしい。 ・ 地区事業、祭り、イベント等への参加を促す工夫も必要である。(学校と地域の連携)
<b>II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進</b>							
1	読書活動を推進する。 ①教科等の学習における図書室の積極的活用 ②読み聞かせボランティアとの連携	3	3	①図書室の図書購入及び活用については、計画的に進めることができた。 ②読み聞かせボランティアについてはコロナ禍ではあったが、ほぼ計画通り実施できた。	3.5	3.5	・ メディアでの情報が多い中、「読む、聞く、見る」読み聞かせ活動を継続してほしい。 ・ 図書室の整備と活用は工夫が見られる。 ・ 読み聞かせの継続も好評価である。
2	確かな学力を育む教育を推進する。 ①基本的な学習態度の育成 ②教員の授業力の向上 ③ICTを活用した授業づくりの推進 ④学習の振り返りの指導の徹底	2	2	①徐々に聞く態度が身に付いてきているが、学年によって差が大きく、十分とは言えない。 ②「4つのポイント」を意識した授業改善について研修し、授業力が少しずつ向上してきた。 ③多様な活用を模索しているところである。今後も効果的な活用について研究を進めていく必要がある。 ④今後も繰り返し、定着の見届けと定着指導の徹底を図る必要がある。	2.3	2.3	・ 日頃からの教育努力に感謝する。ますますの教育向上に期待する。 ・ 聞く態度にばらつきが見られる。個人差が激しいように思える。 ・ 先生たちの努力が十分に児童に伝わっていないように思う。
3	人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。 ①心のこもったあいさつ・返事の実践 ②人権教育の常時指導の充実 ③体験活動を生かした道徳教育の推進 ④いじめ等の早期発見・解消 ⑤命を大切に教育の推進	2	2	①委員会を中心にあいさつ運動に取り組んだり、全校朝会であいさつについて話をしたりすることで、あいさつの実践力が高まってきた。反面、来校者に対してや地域でのあいさつがまだ不十分である。今後も継続して指導していく。 ②悩みアンケートをもとに、望ましい人間関係の在り方等について指導を行ってきた。また、道徳、学級活動の時間に計画的に人権教育を行ってきた。 ③朝のボランティア活動や清掃活動、委員会活動の時間に自主的に活動に向けての意欲付けを図っていく。 ④悩みアンケートや教育相談を計画的に実施し、その結果を全職員で情報共有してきた。 ⑤外部講師による「命に関する授業」を実施した。	3.0	3.0	・ 通山小の日本一流あいさつとともに、思いやりがあり、礼儀正しい教育の推進に期待する。 ・ あいさつはよくできていると思う。登校時に、元気のよいあいさつが返ってくる。 ・ 保護者への説明は、問題ごとに行うよう続けてほしい。
4	特別支援教育を推進する。 ①児童一人一人のニーズに応じた支援の充実 ②特別支援体制と関係機関との連携の充実	3	3	①面談を通して、保護者の要望等をつかむとともに、児童の状況について、全職員で共有した。 ②SSWやSC、民生委員児童委員、特別支援エリアコーディネーター等との連携を密にし、個に応じた指導を行ってきた。	3.2	3.2	・ 多方面のつながり、専門的連携に期待する。 ・ 個々の支援は大変な面もあると思うが、保育園としてできる限りの協力はしていきたい。 ・ 児童の家庭の状況を可能な限り把握する努力が行われている。
5	郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。 ①地域の人材・素材を活用した学習や行事の充実【再掲】 ②総合的な学習の時間におけるふるさと学習の充実	3	3	①コロナ感染拡大に伴って、中止した活動もあったが、予定通りに地域人材を活用することができた活動もあった。実施できた活動は大変充実したものであった。【再掲】 ②年間指導計画に基づいて学習を進めてきたが、コロナの関係で実施できなかったものもあった。	3.7	3.7	・ 年間活動を計画どおり行えない中、運動会での太鼓など、新たな活動ができたことは良かったと思う。 ・ 宮崎を愛する。大切に思う気持ちが、さらに増してくれたらよいと思う。 ・ 海から山までの多彩な自然を十分活用されている。
6	キャリア教育を推進する。 ①地元企業や人材等を活用した学習活動の推進 ②生き方教室の実施	3	3	①コロナ感染拡大に伴って、中止した活動もあったが、予定通りに地域人材を活用することができた活動もあった。実施できた活動は大変充実したものであった。【再掲】 ②年間指導計画に基づいて進めてきたが、コロナの関係で実施できなかったものもあった。	3.7	3.7	・ 近隣企業や農大、保育園とのキャリア教育の充実とともに、子どもたちの「ヒーロー授業」も続けてほしい。 ・ 保育園として、可能な協力は積極的にいきたい。 ・ 地元企業や農・漁業者の協力体制も十分である。
7	社会の変化に対応した多様な人財を育む教育を推進する。 ①ICTを活用した授業づくりの推進【再掲】 ②対話的な学びの実践	3	3	①多様な活用を模索しているところである。今後も効果的な活用について研究を進めていく必要がある。【再掲】 ②学習内容に応じて、対話的な学級活動を積極的に取り入れてきた。	3.0	3.0	・ コロナの影響で思うように活動できなかったことと思う。次年度は計画どおり活動できるよう期待する。
<b>III 教育を支える体制や環境の整備・充実</b>							
1	教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。 ①教職員の資質向上と働き方改革を推進する校時程の運用 ②学校における業務の見直し	3	3	①本年度より運用した新校時程により、放課後における教材研究の時間を確保することができた。 ②業務内容の見直しにより、廃止したり、簡略化したりすることで授業準備に充てる時間を確保していくことができた。働き方改革に対する職員の意識が高まってきた。	3.0	3.0	・ 新しい分野の取り入れと負担の軽減、大変な課題だと思うが、とても大切なことだと思う。 ・ 教職員の方々の放課後の時間確保ができてきていることは、大変良いことだと思う。働き方改革によって、さらにすばらしい職場になっていくことを願う。
2	安全、安心な教育環境の整備・充実に努める。 ①緊急時の避難体制の整備 ②交通安全指導の徹底 ③校内の安全整備	3	3	①保護者への引き渡し訓練、地震、火災、不審者等を想定した避難訓練を計画通りに実施できた。 ②交通安全教室や常時指導を通して、学年の発達段階に応じた交通安全指導を徹底してきた。今後も徹底を図っていく。 ③安全点検を計画的に行い、危険箇所の把握とできるだけ早い修繕を行ってきた。	3.0	3.0	・ ホームページやメールでの情報発信(その日の出来事や様子、緊急の内容等)が良かった。 ・ 訓練を計画どおり実施できたことは大変よいことだと思う。危険箇所のチェックを行うことによって、未然に防げることもあると思う。 ・ トイレなど障がい者に配慮した設備の整備が不十分である。
<b>IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進</b>							
1	学校体育の推進に努める。 ①体育学習の充実 ②運動の習慣化 ③望ましい生活習慣の定着化	3	3	①各学年に応じて、体育の時間における運動量の確保に努めてきた。 ②さわやか体操を計画的に実施したり、感染予防、熱中症対策を行いながら外遊びを奨励したりしてきた。 ③学校保健委員会はコロナ対応のため中止したが、望ましい生活習慣の定着化については、保健便り等を通して、家庭と協力しながら進めることができた。	3.0	3.0	・ 毎朝のさわやか体操の定着とともに、体力向上に期待する。 ・ 生活習慣がきちんとできていない子どもが最近多いように思える。家庭との連携は大切だと思う。